

【新旧対照表】 熊本県地域公共交通計画

[illegible]

## 【新旧対照表】 熊本県地域公共交通計画

頁	変更前	変更後																																																																																																						
98	<p>表 8 - 1 数値指標ごとのモニタリング・評価の方法</p> <table> <tr> <th>数値指標</th><th>目標値</th><th>モニタリングの方法</th></tr> <tr> <td colspan="3">幹線公共交通利用者数の維持</td></tr> <tr> <td>指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員 (バス事業者5社の合計輸送人員)</td><td>26,737 千人/年 以上 (R7 年度)</td><td>路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td>指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員 (鉄道事業者4社の合計輸送人員)</td><td>3,813 千人/年 以上 (R7 年度)</td><td>鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">幹線公共交通の収益性の向上</td></tr> <tr> <td>指標Ⅲ：路線バスの収支率 (バス事業者5社の合計経常収入/ 合計経常費用)</td><td>63.9% 以上 (R7 年度)</td><td>路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td>指標Ⅳ：鉄道の収支率 (鉄道事業者4社の合計鉄道事業収入/ 鉄道事業費用)</td><td>71.2% 以上 (R7 年度)</td><td>鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">利用者一人当たりの行政負担額の縮減</td></tr> <tr> <td>指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額 (バス事業者5社の合計行政負担額/合計輸送人員数)</td><td>113 円/人 以下 (R7 年度)</td><td>路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">広域での地域公共交通計画数の増加</td></tr> <tr> <td>指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数</td><td>7 以上 (R7 年度末)</td><td>市町村への聞き取りにより確認 (毎年度末)</td></tr> <tr> <td colspan="3">コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進</td></tr> <tr> <td>指標Ⅶ：コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数</td><td>45 市町村 (R7 年度末)</td><td>市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">コミュニティ交通利用者数の増加</td></tr> <tr> <td>指標Ⅷ：コミュニティ交通の年間利用者数 (市町村交通施策状況調査における全市町村のコミュニティ交通利用者実績の合計)</td><td>694 千人/年 以上 (R7 年度)</td><td>市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">公共交通に対する県民満足度の向上</td></tr> <tr> <td>指標Ⅸ：県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度</td><td>※R3 年度の県民アンケート結果により設定</td><td>県民アンケートにより確認 (毎年 10 月頃)</td></tr> </table>	数値指標	目標値	モニタリングの方法	幹線公共交通利用者数の維持			指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員 (バス事業者5社の合計輸送人員)	26,737 千人/年 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員 (鉄道事業者4社の合計輸送人員)	3,813 千人/年 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	幹線公共交通の収益性の向上			指標Ⅲ：路線バスの収支率 (バス事業者5社の合計経常収入/ 合計経常費用)	63.9% 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	指標Ⅳ：鉄道の収支率 (鉄道事業者4社の合計鉄道事業収入/ 鉄道事業費用)	71.2% 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	利用者一人当たりの行政負担額の縮減			指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額 (バス事業者5社の合計行政負担額/合計輸送人員数)	113 円/人 以下 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	広域での地域公共交通計画数の増加			指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数	7 以上 (R7 年度末)	市町村への聞き取りにより確認 (毎年度末)	コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進			指標Ⅶ：コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数	45 市町村 (R7 年度末)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)	コミュニティ交通利用者数の増加			指標Ⅷ：コミュニティ交通の年間利用者数 (市町村交通施策状況調査における全市町村のコミュニティ交通利用者実績の合計)	694 千人/年 以上 (R7 年度)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)	公共交通に対する県民満足度の向上			指標Ⅸ：県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度	※R3 年度の県民アンケート結果により設定	県民アンケートにより確認 (毎年 10 月頃)	<p>表 8 - 1 数値指標ごとのモニタリング・評価の方法</p> <table> <tr> <th>数値指標</th><th>目標値</th><th>モニタリングの方法</th></tr> <tr> <td colspan="3">幹線公共交通利用者数の維持</td></tr> <tr> <td>指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員 (バス事業者5社の合計輸送人員)</td><td>26,737 千人/年 以上 (R7 年度)</td><td>路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td>指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員 (鉄道事業者4社の合計輸送人員)</td><td>3,813 千人/年 以上 (R7 年度)</td><td>鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">幹線公共交通の収益性の向上</td></tr> <tr> <td>指標Ⅲ：路線バスの収支率 (バス事業者5社の合計経常収入/ 合計経常費用)</td><td>63.9% 以上 (R7 年度)</td><td>路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td>指標Ⅳ：鉄道の収支率 (鉄道事業者4社の合計鉄道事業収入/ 鉄道事業費用)</td><td>71.2% 以上 (R7 年度)</td><td>鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">利用者一人当たりの行政負担額の縮減</td></tr> <tr> <td>指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額 (バス事業者5社の合計行政負担額/合計輸送人員数)</td><td>113 円/人 以下 (R7 年度)</td><td>路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">広域での地域公共交通計画数の増加</td></tr> <tr> <td>指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数</td><td>7 以上 (R7 年度末)</td><td>市町村への聞き取りにより確認 (毎年度末)</td></tr> <tr> <td colspan="3">コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進</td></tr> <tr> <td>指標Ⅶ：コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数</td><td>45 市町村 (R7 年度末)</td><td>市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">コミュニティ交通利用者数の増加</td></tr> <tr> <td>指標Ⅷ：コミュニティ交通の年間利用者数 (市町村交通施策状況調査における全市町村のコミュニティ交通利用者実績の合計)</td><td>694 千人/年 以上 (R7 年度)</td><td>市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)</td></tr> <tr> <td colspan="3">公共交通に対する県民満足度の向上</td></tr> <tr> <td>指標Ⅸ：県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度</td><td>25.0% 以上 (R7 年度)</td><td>県民アンケートにより確認 (毎年 10 月頃)</td></tr> </table>	数値指標	目標値	モニタリングの方法	幹線公共交通利用者数の維持			指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員 (バス事業者5社の合計輸送人員)	26,737 千人/年 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員 (鉄道事業者4社の合計輸送人員)	3,813 千人/年 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	幹線公共交通の収益性の向上			指標Ⅲ：路線バスの収支率 (バス事業者5社の合計経常収入/ 合計経常費用)	63.9% 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	指標Ⅳ：鉄道の収支率 (鉄道事業者4社の合計鉄道事業収入/ 鉄道事業費用)	71.2% 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	利用者一人当たりの行政負担額の縮減			指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額 (バス事業者5社の合計行政負担額/合計輸送人員数)	113 円/人 以下 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)	広域での地域公共交通計画数の増加			指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数	7 以上 (R7 年度末)	市町村への聞き取りにより確認 (毎年度末)	コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進			指標Ⅶ：コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数	45 市町村 (R7 年度末)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)	コミュニティ交通利用者数の増加			指標Ⅷ：コミュニティ交通の年間利用者数 (市町村交通施策状況調査における全市町村のコミュニティ交通利用者実績の合計)	694 千人/年 以上 (R7 年度)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)	公共交通に対する県民満足度の向上			指標Ⅸ：県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度	25.0% 以上 (R7 年度)	県民アンケートにより確認 (毎年 10 月頃)
数値指標	目標値	モニタリングの方法																																																																																																						
幹線公共交通利用者数の維持																																																																																																								
指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員 (バス事業者5社の合計輸送人員)	26,737 千人/年 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員 (鉄道事業者4社の合計輸送人員)	3,813 千人/年 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
幹線公共交通の収益性の向上																																																																																																								
指標Ⅲ：路線バスの収支率 (バス事業者5社の合計経常収入/ 合計経常費用)	63.9% 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
指標Ⅳ：鉄道の収支率 (鉄道事業者4社の合計鉄道事業収入/ 鉄道事業費用)	71.2% 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
利用者一人当たりの行政負担額の縮減																																																																																																								
指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額 (バス事業者5社の合計行政負担額/合計輸送人員数)	113 円/人 以下 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
広域での地域公共交通計画数の増加																																																																																																								
指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数	7 以上 (R7 年度末)	市町村への聞き取りにより確認 (毎年度末)																																																																																																						
コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進																																																																																																								
指標Ⅶ：コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数	45 市町村 (R7 年度末)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)																																																																																																						
コミュニティ交通利用者数の増加																																																																																																								
指標Ⅷ：コミュニティ交通の年間利用者数 (市町村交通施策状況調査における全市町村のコミュニティ交通利用者実績の合計)	694 千人/年 以上 (R7 年度)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)																																																																																																						
公共交通に対する県民満足度の向上																																																																																																								
指標Ⅸ：県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度	※R3 年度の県民アンケート結果により設定	県民アンケートにより確認 (毎年 10 月頃)																																																																																																						
数値指標	目標値	モニタリングの方法																																																																																																						
幹線公共交通利用者数の維持																																																																																																								
指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員 (バス事業者5社の合計輸送人員)	26,737 千人/年 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員 (鉄道事業者4社の合計輸送人員)	3,813 千人/年 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
幹線公共交通の収益性の向上																																																																																																								
指標Ⅲ：路線バスの収支率 (バス事業者5社の合計経常収入/ 合計経常費用)	63.9% 以上 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
指標Ⅳ：鉄道の収支率 (鉄道事業者4社の合計鉄道事業収入/ 鉄道事業費用)	71.2% 以上 (R7 年度)	鉄道事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
利用者一人当たりの行政負担額の縮減																																																																																																								
指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額 (バス事業者5社の合計行政負担額/合計輸送人員数)	113 円/人 以下 (R7 年度)	路線バス事業者の提供データにより確認 (毎年 6 月頃)																																																																																																						
広域での地域公共交通計画数の増加																																																																																																								
指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数	7 以上 (R7 年度末)	市町村への聞き取りにより確認 (毎年度末)																																																																																																						
コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進																																																																																																								
指標Ⅶ：コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数	45 市町村 (R7 年度末)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)																																																																																																						
コミュニティ交通利用者数の増加																																																																																																								
指標Ⅷ：コミュニティ交通の年間利用者数 (市町村交通施策状況調査における全市町村のコミュニティ交通利用者実績の合計)	694 千人/年 以上 (R7 年度)	市町村交通施策状況調査により確認 (毎年 8 月頃)																																																																																																						
公共交通に対する県民満足度の向上																																																																																																								
指標Ⅸ：県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度	25.0% 以上 (R7 年度)	県民アンケートにより確認 (毎年 10 月頃)																																																																																																						

【新旧対照表】 熊本県地域公共交通計画

頁	変更前	変更後																																																																																
99	<div>表 8－2 数値指標ごとの計画期間中における評価の考え方</div> <table><tr><th>数値指標</th><th>現状値</th><th>計画期間中における評価の考え方 (R3 年度～R6 年度)</th><th>目標値 (R7 年度)</th></tr><tr><td><b>指標Ⅰ</b> 路線バスの年間輸送人員</td><td>26,737 千人/年 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>26,737 千人/年 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅱ</b> 鉄道の年間輸送人員</td><td>3,611 千人/年 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)</td><td>3,813 千人/年 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅲ</b> 路線バスの収支率</td><td>63.9% (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>63.9% 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅳ</b> 鉄道の収支率</td><td>71.2% (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)</td><td>71.2% 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅴ</b> 路線バス利用者一人 当たりの行政負担額</td><td>113 円/人 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>113 円/人 以下</td></tr><tr><td><b>指標Ⅵ</b> 複数市町村にまたがる 地域公共交通計画の数</td><td>3 (R2 年度末)</td><td>おおむね各年度 1 つ以上の計画が策 定されることを目安に、進捗状況を 評価する。</td><td>7 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅶ</b> コミュニティ交通施策の 新規導入・サービス 見直しを行った市町村数</td><td>—</td><td>おおむね各年度 9 市町村以上で、施 策の新規導入・サービス見直しが行 われることを目安に、進捗状況を評 価する。</td><td>4 5 市町村</td></tr><tr><td><b>指標Ⅷ</b> コミュニティ交通の 年間利用者数</td><td>694 千人/年 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>694 千人/年 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅸ</b> 県民アンケートにおける 公共交通に対する 県民満足度</td><td colspan="3">現状値未把握のため、R3 年度にアンケートを行い、その結果を踏 まえ、目標値を設定する。</td></tr></table>	数値指標	現状値	計画期間中における評価の考え方 (R3 年度～R6 年度)	目標値 (R7 年度)	<b>指標Ⅰ</b> 路線バスの年間輸送人員	26,737 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	26,737 千人/年 以上	<b>指標Ⅱ</b> 鉄道の年間輸送人員	3,611 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	3,813 千人/年 以上	<b>指標Ⅲ</b> 路線バスの収支率	63.9% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	63.9% 以上	<b>指標Ⅳ</b> 鉄道の収支率	71.2% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	71.2% 以上	<b>指標Ⅴ</b> 路線バス利用者一人 当たりの行政負担額	113 円/人 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	113 円/人 以下	<b>指標Ⅵ</b> 複数市町村にまたがる 地域公共交通計画の数	3 (R2 年度末)	おおむね各年度 1 つ以上の計画が策 定されることを目安に、進捗状況を 評価する。	7 以上	<b>指標Ⅶ</b> コミュニティ交通施策の 新規導入・サービス 見直しを行った市町村数	—	おおむね各年度 9 市町村以上で、施 策の新規導入・サービス見直しが行 われることを目安に、進捗状況を評 価する。	4 5 市町村	<b>指標Ⅷ</b> コミュニティ交通の 年間利用者数	694 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	694 千人/年 以上	<b>指標Ⅸ</b> 県民アンケートにおける 公共交通に対する 県民満足度	現状値未把握のため、R3 年度にアンケートを行い、その結果を踏 まえ、目標値を設定する。			<div>表 8－2 数値指標ごとの計画期間中における評価の考え方</div> <table><tr><th>数値指標</th><th>現状値</th><th>計画期間中における評価の考え方 (R3 年度～R6 年度)</th><th>目標値 (R7 年度)</th></tr><tr><td><b>指標Ⅰ</b> 路線バスの年間輸送人員</td><td>26,737 千人/年 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>26,737 千人/年 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅱ</b> 鉄道の年間輸送人員</td><td>3,611 千人/年 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)</td><td>3,813 千人/年 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅲ</b> 路線バスの収支率</td><td>63.9% (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>63.9% 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅳ</b> 鉄道の収支率</td><td>71.2% (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)</td><td>71.2% 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅴ</b> 路線バス利用者一人 当たりの行政負担額</td><td>113 円/人 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>113 円/人 以下</td></tr><tr><td><b>指標Ⅵ</b> 複数市町村にまたがる 地域公共交通計画の数</td><td>3 (R2 年度末)</td><td>おおむね各年度 1 つ以上の計画が策 定されることを目安に、進捗状況を 評価する。</td><td>7 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅶ</b> コミュニティ交通施策の 新規導入・サービス 見直しを行った市町村数</td><td>—</td><td>おおむね各年度 9 市町村以上で、施 策の新規導入・サービス見直しが行 われることを目安に、進捗状況を評 価する。</td><td>4 5 市町村</td></tr><tr><td><b>指標Ⅷ</b> コミュニティ交通の 年間利用者数</td><td>694 千人/年 (R1 年度)</td><td>各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。</td><td>694 千人/年 以上</td></tr><tr><td><b>指標Ⅸ</b> 県民アンケートにおける 公共交通に対する 県民満足度</td><td>二</td><td>R4 年度以降において R3 年度数値に 対する増減の状況の評価する。 (※R3 年度数値:公共交通サービスに ついて「満足」、「やや満足」と感じる 県民の割合 23.1%)</td><td>25.0% 以上</td></tr></table>	数値指標	現状値	計画期間中における評価の考え方 (R3 年度～R6 年度)	目標値 (R7 年度)	<b>指標Ⅰ</b> 路線バスの年間輸送人員	26,737 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	26,737 千人/年 以上	<b>指標Ⅱ</b> 鉄道の年間輸送人員	3,611 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	3,813 千人/年 以上	<b>指標Ⅲ</b> 路線バスの収支率	63.9% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	63.9% 以上	<b>指標Ⅳ</b> 鉄道の収支率	71.2% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	71.2% 以上	<b>指標Ⅴ</b> 路線バス利用者一人 当たりの行政負担額	113 円/人 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	113 円/人 以下	<b>指標Ⅵ</b> 複数市町村にまたがる 地域公共交通計画の数	3 (R2 年度末)	おおむね各年度 1 つ以上の計画が策 定されることを目安に、進捗状況を 評価する。	7 以上	<b>指標Ⅶ</b> コミュニティ交通施策の 新規導入・サービス 見直しを行った市町村数	—	おおむね各年度 9 市町村以上で、施 策の新規導入・サービス見直しが行 われることを目安に、進捗状況を評 価する。	4 5 市町村	<b>指標Ⅷ</b> コミュニティ交通の 年間利用者数	694 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	694 千人/年 以上	<b>指標Ⅸ</b> 県民アンケートにおける 公共交通に対する 県民満足度	二	R4 年度以降において R3 年度数値に 対する増減の状況の評価する。 (※R3 年度数値:公共交通サービスに ついて「満足」、「やや満足」と感じる 県民の割合 23.1%)	25.0% 以上
数値指標	現状値	計画期間中における評価の考え方 (R3 年度～R6 年度)	目標値 (R7 年度)																																																																															
<b>指標Ⅰ</b> 路線バスの年間輸送人員	26,737 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	26,737 千人/年 以上																																																																															
<b>指標Ⅱ</b> 鉄道の年間輸送人員	3,611 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	3,813 千人/年 以上																																																																															
<b>指標Ⅲ</b> 路線バスの収支率	63.9% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	63.9% 以上																																																																															
<b>指標Ⅳ</b> 鉄道の収支率	71.2% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	71.2% 以上																																																																															
<b>指標Ⅴ</b> 路線バス利用者一人 当たりの行政負担額	113 円/人 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	113 円/人 以下																																																																															
<b>指標Ⅵ</b> 複数市町村にまたがる 地域公共交通計画の数	3 (R2 年度末)	おおむね各年度 1 つ以上の計画が策 定されることを目安に、進捗状況を 評価する。	7 以上																																																																															
<b>指標Ⅶ</b> コミュニティ交通施策の 新規導入・サービス 見直しを行った市町村数	—	おおむね各年度 9 市町村以上で、施 策の新規導入・サービス見直しが行 われることを目安に、進捗状況を評 価する。	4 5 市町村																																																																															
<b>指標Ⅷ</b> コミュニティ交通の 年間利用者数	694 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	694 千人/年 以上																																																																															
<b>指標Ⅸ</b> 県民アンケートにおける 公共交通に対する 県民満足度	現状値未把握のため、R3 年度にアンケートを行い、その結果を踏 まえ、目標値を設定する。																																																																																	
数値指標	現状値	計画期間中における評価の考え方 (R3 年度～R6 年度)	目標値 (R7 年度)																																																																															
<b>指標Ⅰ</b> 路線バスの年間輸送人員	26,737 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	26,737 千人/年 以上																																																																															
<b>指標Ⅱ</b> 鉄道の年間輸送人員	3,611 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	3,813 千人/年 以上																																																																															
<b>指標Ⅲ</b> 路線バスの収支率	63.9% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	63.9% 以上																																																																															
<b>指標Ⅳ</b> 鉄道の収支率	71.2% (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。 (※現状値は、南阿蘇鉄道が高森～中松の 部分運行中、くま川鉄道が 7 月豪雨の被災 前の値であることに留意する。)	71.2% 以上																																																																															
<b>指標Ⅴ</b> 路線バス利用者一人 当たりの行政負担額	113 円/人 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	113 円/人 以下																																																																															
<b>指標Ⅵ</b> 複数市町村にまたがる 地域公共交通計画の数	3 (R2 年度末)	おおむね各年度 1 つ以上の計画が策 定されることを目安に、進捗状況を 評価する。	7 以上																																																																															
<b>指標Ⅶ</b> コミュニティ交通施策の 新規導入・サービス 見直しを行った市町村数	—	おおむね各年度 9 市町村以上で、施 策の新規導入・サービス見直しが行 われることを目安に、進捗状況を評 価する。	4 5 市町村																																																																															
<b>指標Ⅷ</b> コミュニティ交通の 年間利用者数	694 千人/年 (R1 年度)	各年度において現状値に対する増減 の状況の評価する。	694 千人/年 以上																																																																															
<b>指標Ⅸ</b> 県民アンケートにおける 公共交通に対する 県民満足度	二	R4 年度以降において R3 年度数値に 対する増減の状況の評価する。 (※R3 年度数値:公共交通サービスに ついて「満足」、「やや満足」と感じる 県民の割合 23.1%)	25.0% 以上																																																																															